

 monodzukuri

第4回

ものづくり日本大賞

【北海道地域受賞企業版】



目 INDEX 次

ものづくり日本大賞

内閣総理大臣賞

工藤 義昭 バイオマテックジャパン株式会社
世界の常識を覆した「プロテオグリカンの製造方法」を開発……………01

特別賞

設楽 守良 株式会社ヒューエンス 他3名
汚泥発生量を従来の1/10以下に低減することを実現した汚水処理システム……………02

優秀賞

本田 正一 本田農機工業株式会社 他3名
懸垂機構を用い軟質ゴム羽根で損傷の少ない枝豆の収穫を可能にした自動枝豆脱莢機……………03

臼井 憲之 臼井鋳鉄工業株式会社
鋳物の特性を生かした音響に透明感のあるスピーカー「CASTRON」……………04

阿部 俊夫 株式会社コーノ 他6名
ヒートサイフオンの技術を利用した熱源内蔵FF式真空パネル暖房機「HPH」の開発……………05

佐々木 通彦 株式会社エフ・イー 他2名
根菜類自動皮剥き装置の開発……………06

株式会社ローレル
地元の小中学生が考えたフルーツ型入浴剤の商品化……………07

ものづくり地域貢献賞

行方 将泰 株式会社静内衛生社
バイオマス資源を利用した浄化槽用シーディング(機能調整)剤の開発と商品化……………08

渡部 寿貢 株式会社ティスリー
高感性化に向けた異素材縫製物の織染加工等技術の開発……………09

太田 裕治 株式会社太田精器 他7名
国内初の炭化タンブステン100%の「ナノ微粒バインダレス超硬合金」の開発……………10

松田 和之 訓子府機械工業株式会社
玉ねぎ産地を支える「オニオンタッパー」の開発……………11

第4回「ものづくり日本大賞」

優秀賞

(製品・技術開発部門)

懸垂機構を用い軟質ゴム羽根で損傷の少ない 枝豆の収穫を可能にした自動枝豆脱莢機



受賞者は、枝豆の莢の株元を傾斜型挟持ベルトで逆さに吊るし、搬送過程で左右の回転する軟質ゴム製の脱莢羽根(スレッシング・パドル)によって莢下部から莢頂部にある莢をソフトに扱きとる機構を有する自動枝豆脱莢機を開発。莢の打撲損傷を少なくするため、脱莢羽根の軟質ゴムの材質や厚さ等について研究を重ね、歩留まりが大幅に向上、手もぎと遜色のない水準を達成した。

容易な操作で、軽労働化を実現した。また、構造がシンプルなためメンテナンス・フリーであることから好評であり、「枝豆ピッカー」の名称で全国に販売実績がある。

受賞者名

(敬称略)

本田 正一
本田農機工業(株)

本田 孝一
本田農機工業(株)

増本 三樹男
本田農機工業(株)

織田 正喜
本田農機工業(株)



グループリーダー
本田 正一さん

リーダー所属企業

本田農機工業株式会社

代表取締役社長 本田 雅義 電話0126-45-2211
住所/北海道岩見沢市栗沢町北本町74
ホームページ/ <http://www16.ocn.ne.jp/~hndnouki/>



優秀賞

(製品・技術開発部門)

根菜類自動皮剥き装置の開発

皮むき機全景



ドラムピーラー



- ◎食感を損なわずに手剥きのような滑らかな仕上がりで歩留まり向上(60%→80%以上)
- ◎廃棄していた規格外の小型サイズにも対応。
- ◎汚水発生量を抑制できる。

受賞者らは、歩留まり率が80%以上(従来比20%以上向上)と極めて高く、刃を用いない全く新しい形状のドラムピーラー方式の皮むき機を開発した。

水を使わず剥く事が出来るため廃棄物発生量が抑制され環境負荷の軽減につながり、ランニングコストを抑制、また、手剥きしたときのようなきれいな仕上がりが得られ、加熱せず、薄く皮を剥くため、原料の品質、味を損なうことも無く、そのまま加工に使用できる。

規格外小型ジャガイモも有効活用でき、他の根菜類にも対応可能。

受賞者名

(敬称略)

佐々木 通彦
(株)エフ・イー

湯口 孝二
(株)エフ・イー

稲垣 幸治
(株)エフ・イー



グループリーダー
佐々木 通彦さん

リーダー所属企業

株式会社エフ・イー

代表取締役社長 佐々木 通彦 電話0166-36-4501
住所/北海道旭川市工業団地3条2丁目2-27
ホームページ/<http://www.fesystem.co.jp/>

第4回「ものづくり日本大賞」

ものづくり地域貢献賞

(製品・技術開発部門)

玉ねぎ産地を支える 「オニオンタッパー」の開発



受賞者は、日本一のタマネギの生産地(全国の30%)である北見地方の農家の要望に答え、**茎葉切断(タッピング)の精度が高く、タマネギの損傷が少ない定置式オニオンタッパー**を開発。

定置作業なので天候に左右されず、計画的な作業が可能となり、自走式体系に比べ維持管理費が1/4程度に低減された。**オニオンタッパーにより、タマネギの収穫と茎葉切断を別行程とする作業体系を実現し**、北見地方ではほぼ80%普及し、他の生産地にも波及している。

受賞者名

(敬称略)

松田 和之
訓子府機械工業(株)



松田 和之さん

受賞者所属企業

訓子府機械工業
株式会社

代表取締役 松田 和之 電話0157-47-2131
住所/北海道常呂郡訓子府町東町1-1
ホームページ/<http://www.kunneppukikai.com/index.html>